定期予防接種に保護者以外が同伴する場合は「委任状」が必要です

子どもの定期予防接種には、保護者が同伴することが原則となっていますが、保護者がやむを得ない理由により同伴できない場合は、接種を受ける子どもの健康状態をよく知る親族の方などが同伴し、接種することも可能です。

保護者以外の方が同伴される場合、本年度から接種の際に委任状が必要です。

委任状の様式については、市役所健康課または各地域局に取りに来ていただくか、養父市ホームページからダウンロードしてください。また、下記の様式を参考に作成していただいても結構です。

なお、麻しん風しん混合ワクチンの3期と4期の対象の方は、予診票内の保護者署名欄を記入されていれば、今までどおり保護者の方の同伴なしで接種していただけます。

▼お問い合わせ／市役所健康課（☎662－3165）

定期予防接種における同伴委任状　【見本】

養父市長　様

今回、子どもの予防接種を受けるにあたって、私（保護者）が特段の理由により同伴できないため、被接種者の健康状態を普段から熟知している親族等を代理人（同伴者）と定め、予防接種に関する一切の権限を委任します。私と代理人は予防接種についての説明書を読み、予防接種の効果や副反応、健康被害救済制度などについて理解しましたので、代理人の同意をもって、保護者の同意とします。また、本委任状が養父市に提出されることを同意します。

平成　年　月　日

委任者（保護者名）	養父市○○○
	養父　太郎　印
接種者（お子さんの名前）	養父　次郎
代理人（同伴者）	養父市△△△
	養父　花子

子どもとの関係（いずれかに○）祖父　祖母　おじ・おば・その他（　　）

まちの文化財㊻

～養父駅開業100周年～

養父駅と八鹿駅は明治41年7月1日に開業し、今年の7月1日で100周年を迎えました。江原駅と豊岡駅も翌年7月に開業し、但馬から徒歩で神戸や大阪に人が移動する時代が終わりました。

養父駅の駅舎は、平屋建ての寄棟造りで、正面右側と右側面に庇があり、当時は高級品であったガラスの窓を多く利用しました。入口のプレートには「建物財産標・駅本屋・明治41年3月」の文字が確認できます。待合所の切符を買う窓口、受付台、壁の表面を飾る張り板などは、いずれも開業当時のままです。

養父駅は鉄道ファンの間でも有名なレトロな姿を残す駅です。

養父駅の貨物の取扱量は、管理局内で第5位になる駅でした。当時は、養父市場の牛市で買われた子牛が、一度に貨車50台に積み込まれました。また、日曹鉱業株式会社は、加保鉱山の鉱石を運搬する専用貨物ホームを昭和15年に建設し、山中鉱山、明延鉱山、十二所鉱山などの鉱石も積み込まれました。さらに、養父郡で生産された木炭の出荷基地にもなりました。

養父駅の建設には秘話があります。第1は、養父駅は養父市場の大薮橋南側に計画されましたが、用地確保が実現できずに堀畑に移転しました。しかし、養父駅の名称は残されました。第2は、円山川の洪水対策を考えて、水田から約3㍍も高く土を盛り上げました。第3は、養父駅を建設するために堀畑の御所森神社を明治40年に移転しました。第4は、養父駅から大屋を通って若杉峠、戸倉峠から鳥取駅に至る山陰線ルートが検討されたことです。

養父駅と八鹿駅は国営鉄道として建設され、私たちの身近な交通機関として100年間も利用されています。

（教育委員会社会教育課）